


ふりがな 氏名	にみや ゆうこ	都 道 府 県	愛知県	
	二宮 由布子			
所属/肩書	特定非営利活動法人こども NPO / 名古屋市緑児童館職員 プレイワーカー			
私のESD活動	日本国内の子どもを含む市民に対し、ESD（主に人権）への関心を高めるため国際理解教育の啓蒙活動を行う			

活動の概要

私は子どもを含めた市民に対し、それぞれの主体的な活動を支援する活動を行っています。これまでの主な活動は以下の4つです。

<子育て中の保護者に向けた国際理解教育講座を企画>

社会課題への関心が低下傾向にある若年層に向け、グローバルイシューへの理解・多文化理解、問題解決の手法を主にし、これからの子どもたちが受けるべき教育を考えること、参加者自らが社会の当事者・担い手であると認識することを目的としました。講座終了後、講座参加者がサークルをつくり今後も自分たちが社会に対しどのようなことができるのかを話し合っていく場をつくり現在も継続して活動中です。

<中高生を対象としたワークショップのファシリテート>

中高生を対象にコミュニケーションや人権などをテーマに自らがファシリテーターとなり、継続的にワークショップを行っています。

<子ども達の遊びの権利を保障するプレイワーカー>

子どもが自由に遊べる空間の保障、大人に対し子どもが遊んで育つ必要性を伝えるプレイワーカーとして常時活動しています。

<地域の人と人をつなぐコミュニティワーカー>

実現したいことをもった人と人をつなぎ、新たな場を作っていく仕事を担っています。最近では、地域に住む外国人の方を中高生ワークショップの場に呼び、異文化理解のきっかけとなる場をつくりました。

○「子どもに向けた人権教育講座・自らがファシリテート」 <http://blog.canpan.info/kodomonpo-blog/archive/65>

○「ユースに向けた国際理解教育講座・自らがファシリテート」 <http://blog.canpan.info/kodomonpo-blog/archive/16>

今後の活動や協働への展望

私は現在、特定非営利活動法人こども NPO において名古屋市委託業務である、緑児童館でプレイワーカー（子どもたちの健やかな成長のために子どもに寄り添い・関わる専門職）として勤務しております。

今後はこども NPO で主として勤めている“プレイワーカー”という立場だけでなく人々の場への参加を促進していく“ファシリテーター”、地域の人とつながり、人と人をつなげていく“コミュニティワーカー”として場づくりをしていきたいと考えています。

現在私は地域に住む子どもに対し、参加型ワークショップを用いて、ESD の普及を図っています。今回のコンファレンスへの参加を通して、より子どもが主体となってこどもの意見を社会発信できる場・子どもが世界課題について主体になって学べる場を作っていくとともに、子どもだけでなく地域の大人も交えた交流の場、社会変えていく場に発展させていきたいです。

また ESD 日本ユースの一員として全国のユースと協働することによって、地域への変容を図るだけでなく、社会全体へのエンパワメントを行いたいです。具体的には、ユース同士のネットワークを構築することによって、参加者各々の活動情報のシェア・社会発信、活動のコラボレーションをしたいと思っています。